

2011年6月3日
株式会社日立製作所

日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」BCM 対応ソリューションを強化 高信頼なデータ保管/セキュアなクライアント/クラウド移行支援/電力抑制効果の見える化などの サービスを新設・強化

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、このたび、日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」に、高信頼なデータ保管、セキュアなクライアント(*)環境の提供、クラウド移行支援、電力抑制効果の見える化といった BCM(Business Continuity Management)対応ソリューションを新設・強化し、東日本および西日本に準備した堅牢な Harmonious Cloud センタ(日立のクラウドサービス提供の拠点)から提供します。

*クライアント:コンピュータネットワークにおいて、サーバコンピュータの提供する機能やデータを利用するコンピュータ、端末のこと。

具体的には、ユーザー企業の情報資産を Harmonious Cloud センタに設置したストレージに自動的にコピーして冗長性(二重化)および保全性を高める「データマネージドサービス」および「コンテンツマネージドサービス」を新たに「ストレージサービス」として提供し、ユーザー企業の情報資産の高信頼なデータ保管を行います。また、セキュアクライアントソリューションで培った豊富な運用実績をもとに、セキュアで高信頼なクライアント環境を提供する「クライアントサービス」、ユーザー企業の情報システムのクラウド環境への移行を支援する「クラウド環境移行支援サービス」を6月6日から順次提供を開始します。加えて、クラウドコンサルティングサービスのメニューに、クラウド化にともなう電力抑制効果が見える化する「省電力コンサルティングサービス」を追加します。

震災やパンデミックに対する事業の継続性を高める BCM の重要性が高まってきている昨今、IT 資産の遠隔利用が可能なクラウドを企業システムに導入する期待も大きくなってきています。このような背景のもと、今回、「Harmonious Cloud」において、企業の基幹業務システムのクラウド化を推進する中でもニーズの高い BCM 対応ソリューションを新設、強化します。

本サービスにより、日立がこれまで蓄積してきたクラウド運用のノウハウや、日立の製品技術を使い、迅速に BCM 対応環境を導入でき、ユーザー企業の初期投資や TCO(Total Cost of Ownership)を削減することが可能です。

■「Harmonious Cloud」BCM 対応ソリューションの主な内容

1.ユーザー企業の情報資産を守る高信頼な「ストレージサービス」を体系化して提供

事業継続に不可欠な基幹システムデータの遠隔地での冗長化(二重化)を支援する「データマネージドサービス」(RDB など高性能・高信頼ブロックストレージ向けサービス)により、情報資産を堅牢な Harmonious Cloud センタで保管、運用を行います。具体的には、全世界で実績のある日立エンタープライズディスクアレイ「Hitachi Virtual Storage Platform(日立バーチャルストレージプラットフォーム)」のリモートコピー機能(Hitachi Universal Replicator、Hitachi TrueCopy)を活用し、ユーザー企

業の BCM 対応ポリシーに基づいて、ユーザー企業側のセンターに設置しているストレージから、Harmonious Cloud センタへ自動的なデータ転送およびデータ集約を実現し、ユーザー企業の情報資産の高信頼なデータ保管を行います。

また、日立独自技術によって、ストレージの統合や、管理の一元化を実現するストレージデバイスの仮想化機能(Hitachi Universal Volume Manager)を活用することで、他社も含めた異機種ストレージの情報資産も保管対象にすることが可能です。

さらに、従来提供してきた「クラウドバックアップサービス」、ならびに日立ストレージ「Hitachi Virtual File Platform(日立バーチャルファイルプラットフォーム)(以下、VFP)」のファイル仮想化機能(Hitachi Universal File Manager)を活用し、自動的に日立のクラウドサービス拠点である「Harmonious Cloud センタ」へデータ転送し、確実なデータ保全を実現する「ファイルストレージ アーカイブ マネージドサービス」と「ファイルストレージ システムバックアップ マネージドサービス」に、今回新たに、ユーザー拠点に設置した「VFP」分の従量課金サービスを加えて、ユーザー企業のシステム要件や価格要件に柔軟に応えられる「コンテンツマネージドサービス」(各種帳票や画像、映像などのコンテンツデータ(非構造データ)向けサービス)として、ラインアップに追加しました。

これらのサービスは、Harmonious Cloud センタ側のストレージリソースを活用し、利用量に応じた従量課金でのサービス利用となるため、情報資産管理に必要な初期投資や TCO の削減が可能となります。

2.「クライアントサービス」により、セキュアで高信頼なクライアント環境をHarmonious Cloudセンタから提供

幅広い規模、業種のユーザー企業への導入実績および日立グループ自身における約 70,000 ユーザーへの導入・運用実績をもとに、Harmonious Cloud センタからセキュアで高信頼なクライアントサービスを提供します。事業継続性を重要視して設計されたデータセンタおよびセンタ内システムアーキテクチャにより、ユーザーは在宅やサテライトオフィスなど利用する場所を選ばず情報漏洩を防ぐセキュアで高信頼なクライアント環境を利用することが可能となります。

3. 迅速なクラウド導入を支援する「クラウド環境移行支援サービス」を提供

豊富なユーザー環境移行の SI 実績や、クラウド導入支援により培ったノウハウを活用し、最短 1 週間でユーザー企業内の既存システムからクラウド環境へのスムーズなシステム環境の移行を支援します。本サービスでは、既存環境の調査結果をもとに、多くのユーザーで実績のある移行方式を用いて、移行を支援します。

また、検証環境が、2 週間無償利用が可能で、ユーザー企業独自のアプリケーション動作確認などが可能です。

4. クラウドコンサルティングサービスに電力抑制効果の見える化を追加

クラウド導入による TCO 削減効果など導入効果のアセスメントをするクラウドコンサルティングサービスにおいて、IT 機器の電力抑制効果の見える化を追加しました。

本サービスにより、ユーザー企業環境へのクラウド導入または Harmonious Cloud センタへの移行による電力抑制効果の把握が可能となります。

日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」は、「安全・安心」「スピード・柔軟」「協創」のコンセプトのもと、企業の基幹業務システムを支える高信頼なクラウドとして、今後もサービスメニューの強化を実施していきます。

■ 価格および提供時期

	名称	概要	価格	提供開始時期
1	ストレージサービス			
	データマネージドサービス	RDB などの高性能・高信頼 ブロックストレージを必要とするデータの冗長化	個別見積 (月額)	2011 年 9 月 30 日
	コンテンツマネージド サービス	各種帳票や画像、映像などの コンテンツデータを保全		2011 年 6 月 6 日
2	クライアントサービス	セキュアで高信頼な仮想デスクトップを提供	個別見積 (月額)	2011 年 9 月 30 日
3	クラウド移行支援サービス	既存環境からクラウド環境への移行を支援	個別見積	2011 年 6 月 30 日
4	クラウドコンサルティング サービス (省電力見える化対応)	クラウド環境移行による電力抑制効果の 見える化	個別見積	2011 年 6 月 6 日

■ 日立的クラウドソリューション「Harmonious Cloud」に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/cloud/>

■ 他社商標注記

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

■ 取り扱い事業部・照会先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 プラットフォームソリューション事業部

事業戦略部 [担当:飯塚、三木]

〒140-0013 東京都品川区南大井六丁目 26 番 3 号(大森ベルポート D 館)

お問い合わせフォーム: <http://www.hitachi.co.jp/pss-inq/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
